

豊かな心	互いのよさを認め合う経験を積むことで、思いやりを行動に表す子どもを育てていきます。	77%	14%	9%
	朝読書や図書司書さんによる読書指導、全校一斉読み聞かせなどを通して、子どもが本に親しむ機会を積極的に設けています。	83%	8%	9%
	異年齢交流（イチイ活動）を通して、高学年を中心に、互いのよさを認め合う経験を積むことで、思いやりを行動に表す子を育てていきます。	83%	10%	7%
	なやみやいじめに関するアンケートやSOSシート等のアンケートを実施し、子どもの学校生活への思いを把握することで、いじめの防止、早期発見、組織的な対処ができるようにしています。	82%	12%	6%
健やかな体	マット運動週間や跳び箱運動週間等を通して、子どもが運動に親しむ機会を積極的に設定しています。	85%	8%	7%
	ランチルーム給食やリザーブ給食、栄養教諭による食指導を通して、「食」に関する知識や、バランスのよい「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育てていきます。	90%	2%	8%
保護者との連携	個人懇談や三者懇談を実施したり、日常学習の充実を重視して行事を企画・運営したりすることを通して、家庭と学校が子どもの育ちを共有する関係づくりに努めています。	84%	9%	7%
	学校ホームページや学校だより等を通して、小中一貫した教育への取組や子どもたちの教育活動の姿をお知らせするよう努めています。	84%	7%	9%

○学校の取組に関するアンケート結果から

【学ぶ力の育成について】

長期休業明けの漢字チャレンジテストの取組は、子どもたちにとって漢字の定着を図ったり、学ぶ意欲を高めたりするよいきっかけとなっているという回答を多くの方からいただきました。一人一人の児童の実態に応じた漢字学習の取組を考えていくことで、全ての子どもたちが漢字学習やその他の学習に対して主体的に取り組むことができるようにしていきます。

【豊かな心の育成について】

異年齢交流（イチイ活動）を再開して2年が経ちますが、高学年の児童が活躍する姿が多くで見られています。イチイ活動を楽しみにしている低学年児童も多いようです。次年度以降、異年齢による交流活動をさらに充実させていくことで、互いのよさを認め合い、思いやりを行動に表す子を育てていきます。

【健やかな体の育成について】

特に食指導に関して多くの保護者の方に肯定的な回答をいただきました。ランチルーム給食は今年度からスタートした取組ですが、どのクラスの児童も楽しそうに給食を食べている様子が見られました。また、栄養教諭が中心となり、玄関ホールに食指導に関する資料を掲示したり、保護者に向けて食指導の内容についてホームページで発信（「栄養教諭のひとりごと」コーナー）したりしています。これらの取組を今後も継続していくことで、健全な食生活を実践できる力を育てていきます。